

平成25年行政事業レビューシート (文部科学省)

事業名	口蹄疫等家畜伝染病に対応した獣医師育成環境整備事業		担当部局庁	高等教育局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成22年度・平成25年度		担当課室	専門教育課		専門教育課長 内藤 敏也		
会計区分	一般会計		政策・施策名	個性が輝く高等教育の振興 IV-1 大学などにおける教育研究の質の向上				
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-		関係する計画、 通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	国民の健康・生活の安心を確保するため、臨床教育プログラムの開発や教育環境の整備に必要な経費を支援し、口蹄疫対策を担う産業動物獣医師等の養成強化を図る。							
事業概要 (5行程度以内。 別添可)	口蹄疫対策等を担う産業動物獣医師等の養成強化を図るための取組を支援。 ・産業動物診療分野や家畜感染症・人獣共通感染症等対策分野において、全国の獣医系大学の学生の実習機会の確保や、教育水準の向上を図るため、全国的な実習システムを構築する(補助金:定額補助)。							
実施方法	□直接実施 □委託・請負 ■補助 □負担 □交付 □貸付 □その他							
予算額・ 執行額 (単位:百万円)			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
	予算 の 状 況	当初予算	-	31	28	25	-	
		補正予算	240	0	0	0	-	
		繰越し等	-240	240	0	0	-	
		計	0	271	28	25	-	
	執行額		※1 0	262	※2 30	-	-	
	執行率(%)		0	96.7%	107%	-	-	
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (25年度)
	獣医系大学と外部専門機関との全国的な実習システムに参加する獣医系大学の割合		成果実績	%	-	0%	100%	100
			達成度	%	-	-	-	-
	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (25年度)
	獣医系大学と外部専門機関との全国的な実習システムを用いた臨床実習等に参加する学生数		成果実績	人	-	0	171人	60
			達成度	%	-	-	-	-
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	選定大学数		活動実績 (当初見込み)	件	- ※1	27	2	-
			-	(2)	(2)	(2)		
単位当たり コスト	13,500(千円/件)		算出根拠	単位当たりコスト＝平成24年度支出額(27,000,000円)÷選定大学数(2件)				
平成 25 ・ 26 年度 予算 内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	大学改革推進等補助金	24百万円	-					
	大学改革推進等補助金事務費	1百万円	-					
計	25百万円	-						

事業所管部局による点検						
	項 目		評 価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	近年の口蹄疫や鳥インフルエンザ、アジアにおける動物由来感染症等の発生を受け、国民の健康・生活を守るため現場の最前線で家畜診療や防疫等に従事する産業動物獣医師や公務員獣医師に対する社会的ニーズが質・量ともに高まっている。農林水産省「獣医療を提供する体制の整備を図るための基本方針」(平成22年8月)、「口蹄疫対策検証委員会」(平成22年11月)等においても、産業動物獣医師・公務員獣医師の養成・確保、獣医系大学における産業動物等に関する臨床実習の充実・強化が提言等されていることから、国において支援すべき優先度の高い事業である。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	本事業は、公募を行い有識者からなる選定委員会で選定を行うことで競争性を確保している。また、経費の執行に関して、事業年度ごとに各大学から提出される実績報告書等により、補助金の使用状況や事業目的との整合性について確認を行っている。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		○			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○			
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—			
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	本事業で整備された実習用機器により、獣医系大学の臨床実習等が充実・強化されるなど、十分に活用されている。また、全国的実習システム(実習の手引きの作成、学生の受入機関の開拓・確保等)の構築により、獣医系全16大学の参加と外部高度専門機関の連携による、全国の獣医系学生が産業動物臨床・感染症対策に関する高度で実践的な教育を受ける機会が確保されるなど、実効性の高い事業である。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)					
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	・本事業は、口蹄疫対策を担う産業動物獣医師等の養成を図るため、有識者等による選定委員会において平成23年度に全国的実習システムを構築するため2件の取組を選定した。 ・構築した全国的実習システムにより、各大学の産業動物臨床・感染症対策に関する実践的な教育の充実・強化が図られ、産業動物獣医師や公務員獣医師の現場の最前線を教育カリキュラムに組み込む動きを加速している。 ・今後は、限られた予算の範囲内で、各実習プログラムの受入人数の増大、新たな高度外部専門機関の開拓など、いかに実習先を開拓・確保し、多くの学生に実習機会を提供できるか検討を行う。 ・経費の執行に関しては、事業年度毎に各大学から提出される実績報告書等において、支出先・使途を把握し、補助金の使用状況や事業目的との整合性について確認を行い、事業の適切な実施に努めている。					
外部有識者の所見						
本事業においては、全国的実習システム(実習の手引きの作成、学生の受入機関の開拓・確保等)の構築により、各大学の産業動物臨床・感染症対策に関する実践的な教育の充実・強化などといった成果が上がっていると認められる。 しかしながら、より効果の高い事業とするため、今後は各実習プログラムの受入人数の増大、新たな高度外部専門機関の開拓など、いかに実習先を開拓・確保し、多くの学生に実習機会を提供できるかを検討すべきである。						
行政事業レビュー推進チームの所見						
事業全体改善の抜本的	所期の目標を達成したことから、平成25年度をもって廃止すべきである。ただし、今後は、各実習プログラムの受入人数の増大、新たな高度外部専門機関の開拓など、いかに実習先を開拓・確保し、多くの学生に実習機会を提供できるかを検討し、新たな事業を構築等すべきである。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
廃止	当該事業は、所期の目標を達成したことから、平成25年度をもって廃止する。なお、事業終了後も関係機関と協力し、引き続き実習機会の拡大方法について検討する。					
備考						
※1 平成22年度中に外部委員会の審査等を経て25件の取組を選定したが、23年度へ全額繰越したため、執行額及び活動実績は「0」としている。 ※2 年度中に2百万円流用増している。						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	—	平成23年	0150	平成24年	0160

文部科学省
28百万円

諸謝金 0.1百万円
職員旅費 0.1百万円を含む
委員等旅費 0.4百万円
庁費 0.1百万円

〔対象大学から提案のあった事業内容を
審査の上、支援対象とする取組みを
選定し、補助金を交付する。〕



【公募・補助】

A.国立大学(全2大学)
27百万円

〔口蹄疫対策等を担う産業動物獣医師の
養成強化を図るため、全国的な臨床実
習システムの構築を支援する。〕

資金の流れ
(資金の受け取
り先が何を行っ
ているかについ
て補足する)
(単位:百万
円)

費目・使途 「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載	A.岐阜大学			E.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	人件費・謝金	コーディネーター雇用	9			
	旅費	強力大学 および連携大学との連絡調整	4			
	その他	通信運搬	1			
	計		14	計		0
	B.			F.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0
	C.			G.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0
	D.			H.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

※補助事業

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	岐阜大学	産業動物診療分野における全国的臨床実習システムの構築	14	-	-
2	東京大学	家畜感染症・人獣共通感染症等対策分野における全国的実習システムの構築	14	-	-
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					